PCIバス搭載 PC98-NXシリーズ・DOS/Vマシン・
PC-9821シリーズ用　Fast Ethernet LANアダプタ

ET100-PCI-R

取扱説明書

E-01

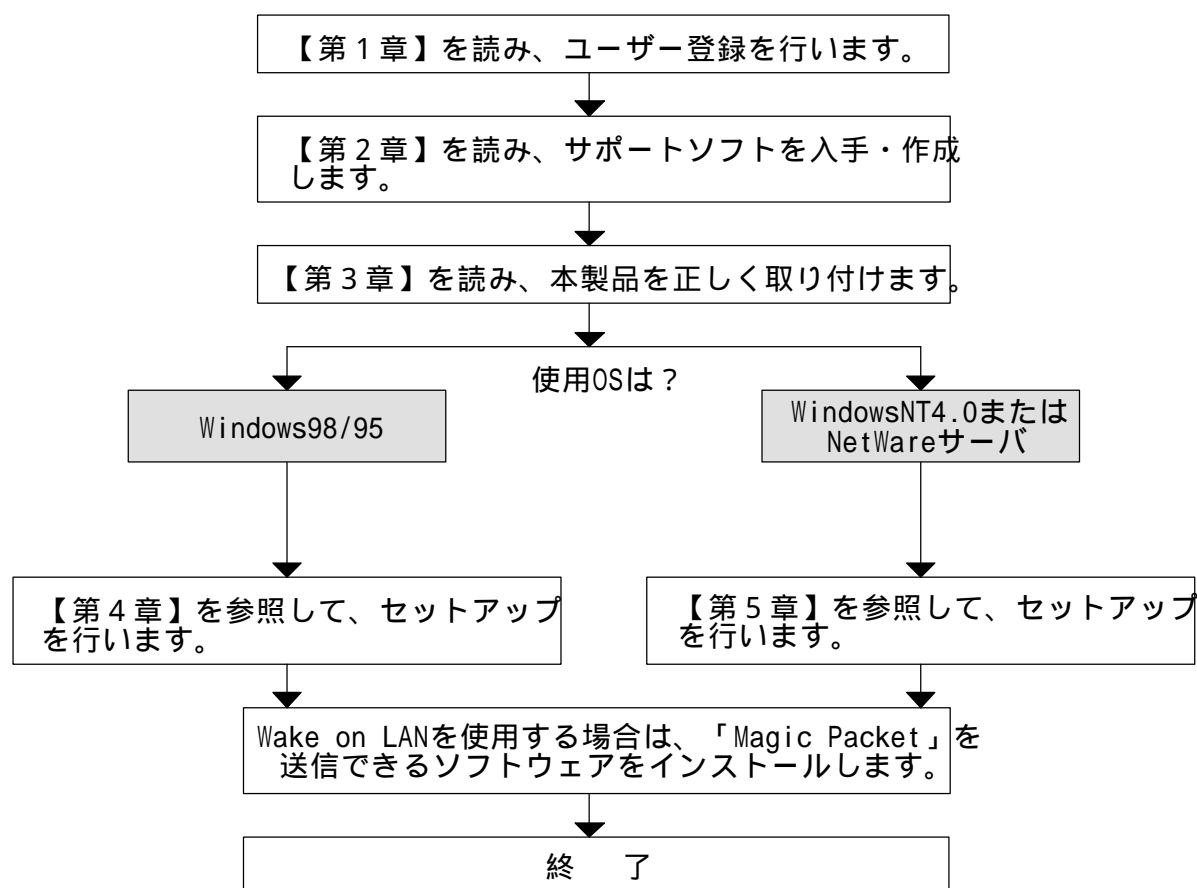
【ご注意】

1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2)本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3)本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5)本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
6)本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7)本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8)本サポートソフトウェアは、取扱説明者または仕様書において互換性があると記載されたサードパーティの製品に関し、互換性を保つために努力しますが、サードパーティの製品に問題または欠陥があるために互換性がない場合は例外とします。
9)書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
12)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

このたびは、PCIバス搭載　PC98-NXシリーズ・DOS/Vマシン・PC-9821シリーズ用LANアダプタ『ET100-PCI-R』をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をご覧になるにあたって

1 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。

2 呼び方

呼び方	意　味
ET100-PCIシリーズ	ET100-PCI-RおよびET100-PCIの総称
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System
Windows98	Microsoft® Windows®98 Operating SystemおよびMicrosoft® Windows®98 Operating System Second Editionの総称
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows98/95	Windows98及びWindows95の総称
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
Windows	Windows98/95及びWindowsNT4.0の総称
NetWare5.xJ	Novell NetWare5J
NetWare4.xJ	Novell NetWare4.1J/4.11J
NetWare3.xJ	Novell NetWare3.12J/3.2J
NetWare	Novell NetWare3.xJ/4.xJ/5.xJの総称

第1章 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

■簡単セットアップ

●プラグ＆プレイ対応の簡単インストール

●ネットワーク状態監視用のLEDインジケータを装備しているので、ネットワークトラブルの切り分けができます

■高速！PCIバス・100Mbps・Full-Duplex対応

●Full-Duplex対応のスイッチングハブ(弊社製ET-FSWH8等)と併用することで、理論値2倍の高速通信が可能

■Wake on LAN対応

本製品は「Wake on LAN」に対応しているため、ネットワーク上の他のパソコンから、本製品を取り付けたパソコンを起動することができます

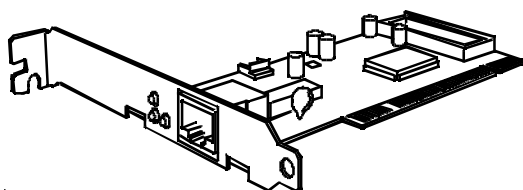
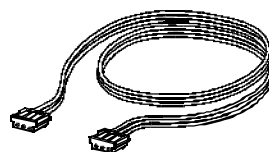
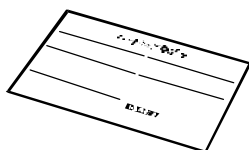
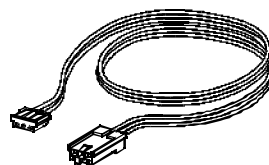
■移行もスムーズ

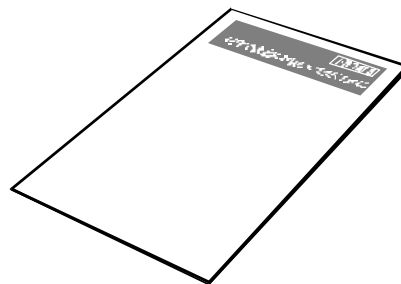
10/100Mbpsを自動的に検知して切り替えるため、既存の10BASE-Tネットワークにも簡単に設置でき移行もスムーズ

1 2 箱を開けたら

1 内容のご確認

万が一、不足がございましたら弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

□ LANアダプタボード（１枚）
［ET100-PCI-R］

□ Wake on LANケーブル（１本）
［DOS/Vマシン用］

□ ハードウェア保証書（１枚）

□ Wake on LANケーブル（１本）
［PC98-NXシリーズ用］

□ ハードウェアシリアルNO.シール
（１枚）

□ 安全で快適にお使いいただくために
（１枚）

本製品の内容物には、「サポートソフト」は含まれておりません。別途、インターネットの弊社ホームページ上から「サポートソフト」をダウンロードしてご使用ください。詳細は【第２章】(P7)を参照してください。

２ ユーザー登録について

オンラインによる登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示に従って必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録後、ユーザー登録番号を書きとめ、大切に保管してください。

1)弊社では、PLANTコールセンターでのソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。

2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入漏れがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

13 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

1 対応機種

PCI(Peripheral Component Interconnect) Ver 2.0以降のバスを搭載した下記の機種※1

・NEC PC98-NXシリーズ

・DOS/Vマシン※2

・NEC PC-9821シリーズ

※1 Wake on LANを使用するには、ATX2.01に対応している必要があります。
PC-9821シリーズではWake on LANは使用できません。

※2 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。

2 対応ＯＳ

日本語Windows98（Second Editionを含む）/95,日本語WindowsNT4.0

3 対応ＮＯＳ環境

クライアント･サーバ

日本語Windows98（Second Editionを含む）/95
日本語WindowsNT4.0
NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J/5J

ピア・ツー・ピア

日本語Windows98（Second Editionを含む）/95
日本語WindowsNT4.0

対応ドライバ

NDIS 3.1/4.0,3860DI

取り扱い及び使用上の注意

1 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

2 保証について

◎保証期間

・保証期間は、製造日より３年間です。保証期間を過ぎたものは有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

「Wake on LAN」とは？

Wake on LANとは？

ネットワークでつながれたパソコンから他のパソコンを起動する機能です。
「Magic Packet」という信号を、本製品を取り付けたパソコンで受信することにより起動します。

必要なもの・設定は？

「Magic Packet」を送信するパソコンを「送信側」、受信する方を「受信側」と呼称します。

◆送信側

・「Magic Packet」を送信できるソフトウェア

ご紹介:「Magic Packet」を送信できるソフトウェア例 ('99.11.19現在)
・Remote Power Control（フリーウェア） http://www04.u-page.so-net.ne.jp/sa2/hwada/

1)「Magic Packet」を送信できるソフトウェアは、別途手に入れる必要があります。予めご了承ください。
2)ホームページのアドレスは予告なく変更または中止になる場合があります。
2)弊社では、別途入手された「Magic Packet」を送信できるソフトウェアのサポートはいたしかねます。予めご了承ください。

・「受信側」に接続されたネットワーク

◆受信側

・本製品（Wake on LANに対応したLANアダプタ）
・Wake on LANケーブル（本製品に添付）
・Wake on LANに対応しているパソコン本体
Wake on LANの対応についての詳細は、パソコンメーカーにお問い合わせください。
・パソコンのBIOSのWake on LANに関する部分をEnable(有効)に設定する
BIOSの設定についての詳細は、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

第2章 サポートソフトの入手

本製品の内容物には、「サポートソフト」は含まれておりません。
別途、インターネットの弊社ホームページ上から「サポートソフト」をダウンロードする必要があります。
以下の手順に従って「サポートソフト」をダウンロード及び作成してください。

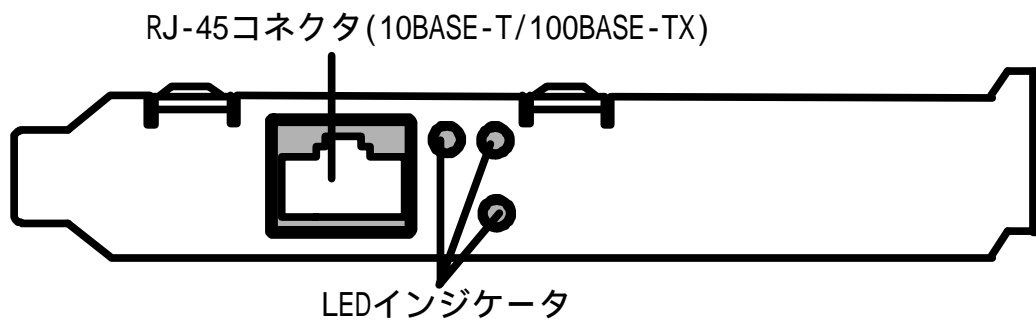
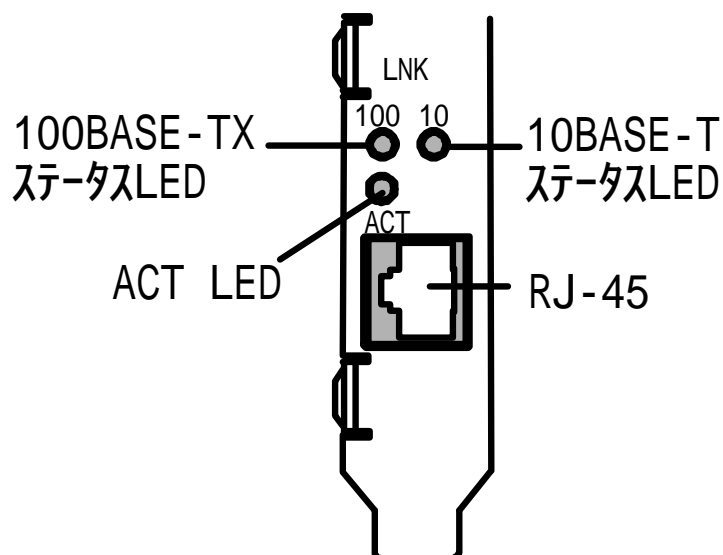
《手順》

1. フォーマット済みの空きフロッピーディスク（2HD:1.44MB）をご用意ください。
2. 上記フロッピーディスクを書き込み可能にして、フロッピーディスクドライブにセットします。
3. 以下の弊社ホームページ上からフロッピーディスクドライブにファイルをダウンロードしてください。
   http://www.iodata.co.jp/lib/plant/et100pci.htm
4. ダウンロード後、フロッピーディスク上でファイル「ET100.EXE」を実行（Windows上からはダブルクリック）してください。
5. 表示された内容を確認後、「解凍しますか？(Y/N)」で［Y］キーを押してください。サポートソフトが解凍されます。

フロッピーディスクに「ET100-PCIシリーズ」と書いたラベルを貼って次章以降でご使用ください。

第3章　取り付け方法

本製品は、PCIバス仕様の拡張スロットに装着することができます。
この章では、パソコンに本製品をセットアップする方法を説明します。

3 1 各部の名称

3 2 LEDインジケータ

LEDインジケータ	機能
10BASE-T ステータス	10BASE-T(10)ステータスLEDインジケータは、10BASE-Tで通信されている状態のときのみに点灯します。 本製品はネットワークの通信状態（10BASE-Tか100BASE-TX）をハブの転送スピードから自動認識します。
100BASE-TX ステータス	100BASE-TX(100)ステータスLEDインジケータは、100BASE-TXで通信されている状態のときのみに点灯します。 本製品はネットワークの通信状態（10BASE-Tか100BASE-TX）をハブの転送スピードから自動認識します。
ACT	ACT LEDインジケータは、送受信用データを示します。 緑色の点滅（点灯）状態は、ネットワークの利用状況を示しています。

取り付け

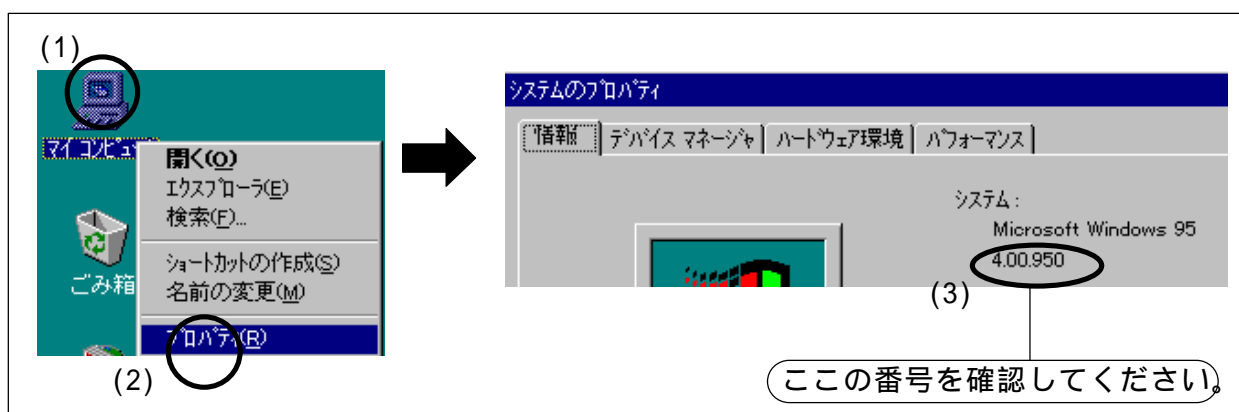
3.3.1 取り付けの前に

本製品の内容物には、「サポートソフト」は含まれておりません。別途、インターネットの弊社ホームページ上から「サポートソフト」をダウンロードしておいてください。詳細は【第２章】(P7)を参照してください。

Windows95をご使用の場合は、ボードを取り付ける前に以下を参照してWindows95のバージョン番号の確認を行ってください。他のOSをご使用の場合は、バージョン番号の確認は必要ありません。この項を読み飛ばしてください。

Windows95のバージョンによりインストール方法が異なります。必ずバージョンを確認してからボードの取り付けを行ってください。

《Windows95バージョンの確認方法》

「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」(1)にマウスカーソルを合わせて右クリックし、現れたメニューから「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」(2)を選択します。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』に表示される番号(3)を確認してください。（Windows95のバージョンには、「4.00.950」,「4.00.950a」,「4.00.950 B」,「4.00.950 C」があります。）

3.3.2 取り付け

特に注意

ボードの取り付け、取り外しの際は、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

注 意

PC98-NXシリーズや他のパソコンでは、取り付けるPCIスロットによって本製品が動作しない場合※があります。その場合は、他のPCIスロットに取り付けてください。

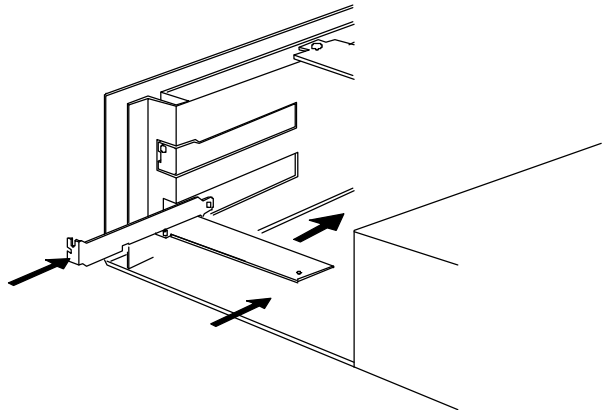
※例）パソコンに本製品を取り付け、WindowsNTを起動します。
次にWindowsNT用ドライバをインストール後、WindowsNTの再起動中に「ｲﾍﾞﾝﾄﾛｸﾞ」でエラー表示される場合があります。この場合は、本製品のドライバを削除後、電源を切って本製品を一旦取り外し、他のPCIスロットに取り付けてください。
(詳細は【● Windows98/95/NT上でのトラブル】(P41)をご覧ください。)

1 本製品の取り付け

1 パソコンの電源スイッチを切り、周辺機器に接続されているケーブルを全て取り外します。

2 パソコンのカバーを取り外します。取り外し方については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 空いているPCI拡張スロットのスロットカバーを取り外してください。

4 PCI拡張スロットに本製品を取り付けます。
本製品がPCI拡張スロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。
（ご使用のパソコンによっては、本製品の部品面を下に向けて差し込む場合や本製品を垂直に差し込む場合などがあります。
詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください。）

5 PCI拡張スロットに本製品が確実に固定されるように、スロットカバー用のネジを取り付けます。

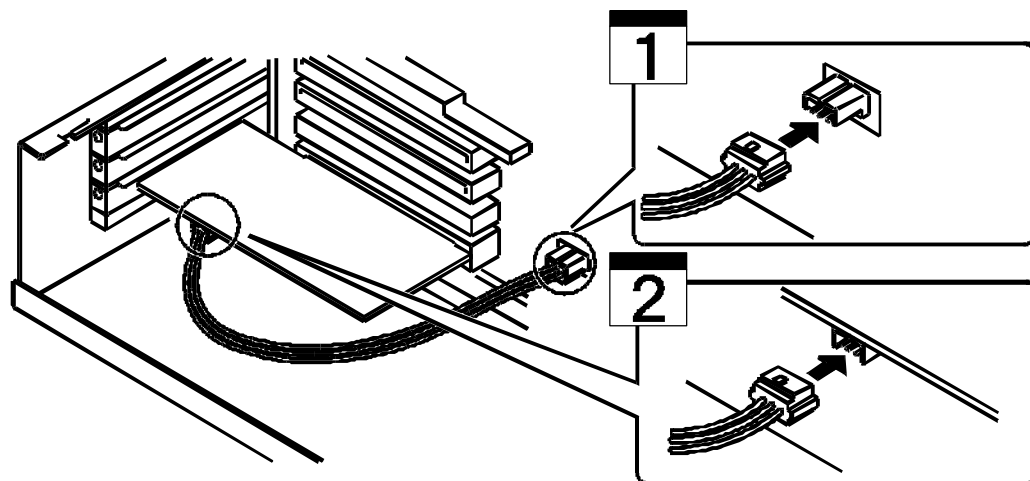
2 Wake on LAN用ケーブルの取り付け

Wake on LAN機能を使わない場合は、ここの作業を読み飛ばしてください。
その場合は、【3 ネットワークへの接続】(P14)にお進みください。

Wake on LAN用ケーブルの取り付けはパソコン本体によって異なります。
それぞれの機種にあった取り付けを行ってください。

DOS/Vマシンの場合

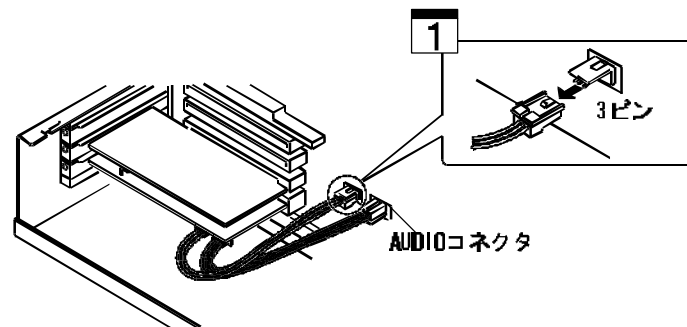
1 パソコン本体のWake on LANコネクタに本製品添付のWake on LANケーブル（DOS/Vマシン用）を接続します。

2 本製品のWake on LANコネクタに本製品添付のWake on LANケーブル（DOS/Vマシン用）を接続します。

Wake on LANケーブルの取り付けは終了です。
【3 ネットワークへの接続】(P14)にお進みください。

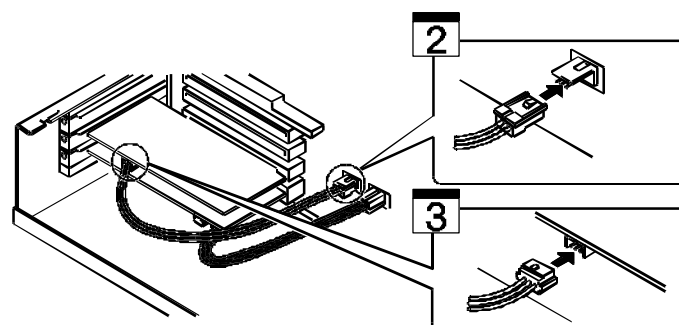
Wake on LAN機能を使うには、パソコン本体のBIOSを設定する必要があります。
BIOSの設定の詳細は、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

NEC製 PC98-NXシリーズの場合

1)ここでは、リモートパワーオン機能に対応したPC98-NXシリーズに関する説明を行っています。パソコンの取扱説明書にリモートパワーオン機能について記載されている機種の場合、この手順で取り付けを行ってください。
2)Wake on LANを使うには、「Timer-NX」を起動する必要があります。
起動方法などの詳細は、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

1 標準装備のモデムがある場合は、モデムに配線されている２本のケーブルのうちの３ピンのコネクタにつながっているケーブルを抜きます。
ケーブルが抜かれたコネクタがWake on LANコネクタです。

標準装備のモデムからのびたケーブルを抜くと、リング機能が使えなくなります。
※ リング機能についての詳細は、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン本体のWake on LANコネクタに本製品添付のWake on LANケーブル（PC98-NXシリーズ用）を接続します。

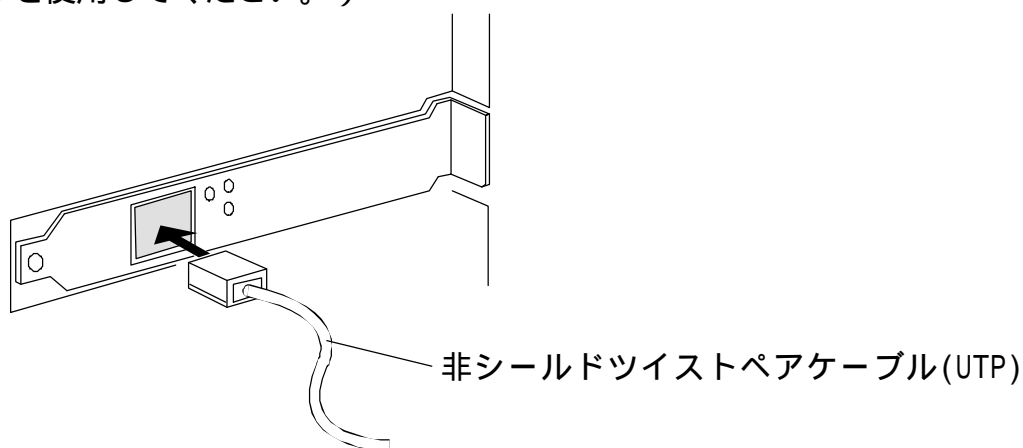
3 本製品のWake on LANコネクタに本製品添付のWake on LANケーブル（PC98-NXシリーズ用）を接続します。

Wake on LANケーブルの取り付けは終了です。

【3 ネットワークへの接続】(P14)にお進みください。

Wake on LAN機能を使うには、パソコン本体のBIOSを設定する必要があります。
BIOSの設定の詳細は、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

3 ネットワークへの接続

1 【1 本製品の取り付け】で取り外された、パソコンのカバーと全ての周辺機器やケーブルを元に戻します。

2 本製品をネットワークに接続します。（10BASE-Tの場合はカテゴリー3,4または5を使用してください。100BASE-TXの場合は非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５を使用してください。）

以上で取り付けは終了です。
この後、Windows98/95を使用している場合は【第４章】(次ページ)へ
WindowsNT4.0またはNetWareを使用している場合は【第５章】(P28)へお進みください。

第４章　日本語Windows98/95で使用するには

Windows98/95上で本製品を使用するには、ドライバのインストール及びネットワークの設定が必要となります。
ここでは、Windows98/95への本製品のドライバのインストール方法及び各種ネットワークの設定について説明します。

注意

インストールには「サポートソフト」ディスクが必要となります。
あらかじめ【第２章】(P7)で準備した「サポートソフト」ディスクをご用意ください。

4-1 Windows98へのインストール

注意

1)本製品のRJ-45コネクタ(10BASE-Tまたは100BASE-TX)に、ネットワーク接続されたケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
2)パソコンにWindows98をインストールする場合は、LANアダプタ（本製品を含む）を取り付けない状態で、行ってください。

1 本製品をパソコン本体に取り付け、Windows98を起動します。

2 ウィザードが新しいハードウェアを検出し、「次の新しいドライバを検索しています。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

注 意

自動検出されなかった場合は、【● Windows98/95上でのトラブル】(P41)をご覧ください。

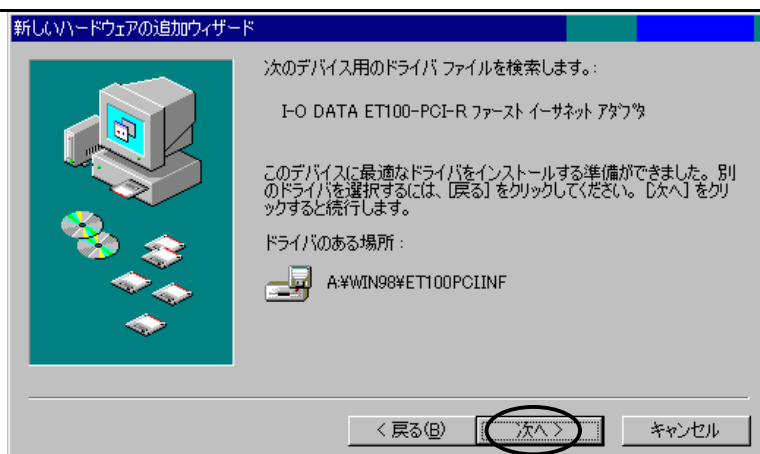
3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

4 フロッピーディスクドライブに作成した「サポートソフト」ディスクを挿入し、「検索場所の指定」のみをチェックし、

A:\WIN98

（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAの場合）と入力し、

［次へ］ボタンをクリックしてください。

5 「このﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されますので、確認して[次へ]ボタンをクリックします。ファイルコピーを開始します。

6 Windows98のCD-ROMが要求されます。

Windows98のCD-ROMをセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

「Windows98 CD-ROM上のﾌｧｲﾙ choosusr.dllが見つかりませんでした.」とエラー表示された場合は、Windows98のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている事を確認して、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。

（以下の下線部入力:CD-ROMドライブがＤドライブの場合）

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合　　D:\WIN98

PC-9821シリーズの場合　　D:\WIN98n

7 **必要なファイルがコピーされると、**
「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱﾃﾞﾊﾞｲｽに必要なｿﾌﾄｳｪｱがｲﾝｽﾄｰﾙされました。」
と表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。

8 **「今すぐ再起動しますか」と表示されますので、サポートディスクを抜き、**
[はい]ボタンをクリックして、再起動してください。

以上でインストールは終了です。Windows98を再起動後、インストール後の確認を行ってください。（【4.3 インストール後の確認】(P25)参照）

Windows95へのインストール

注 意

1)本製品のRJ-45コネクタ(10BASE-Tまたは100BASE-TX)に、ネットワーク接続されたケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。

2)パソコンにWindows95をインストールする場合は、LANアダプタ(本製品を含む)を取り外した状態で行ってください。

Windows95のバージョン(4.00.950,4.00.950a,4.00.950 B,4.00.950 C)によってインストール手順（画面）が異なります。【3.3.1 取り付けの前に】(P10)で確認したバージョンの該当欄を参照してインストールを行ってください。

Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950aの場合

以下の【4.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合】をお読みください。

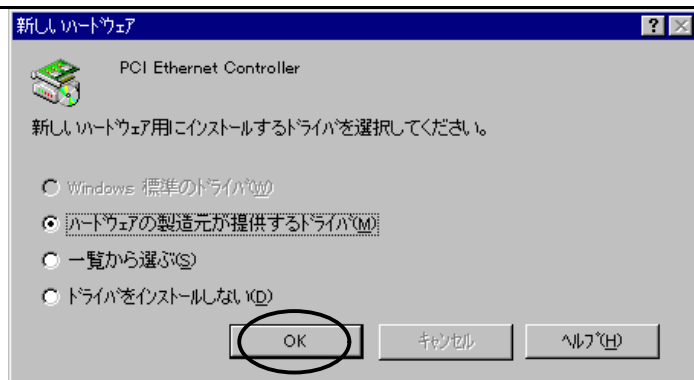
Windows95のバージョンが4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合

【4.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合】(P22)をお読みください。

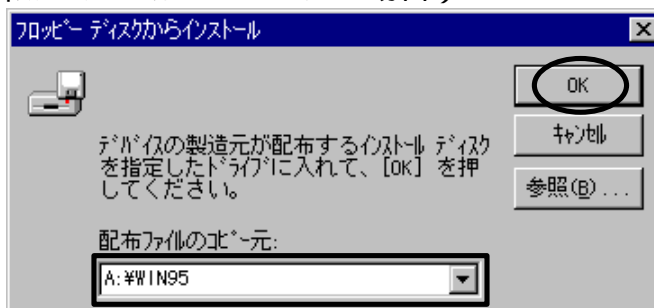
4.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合

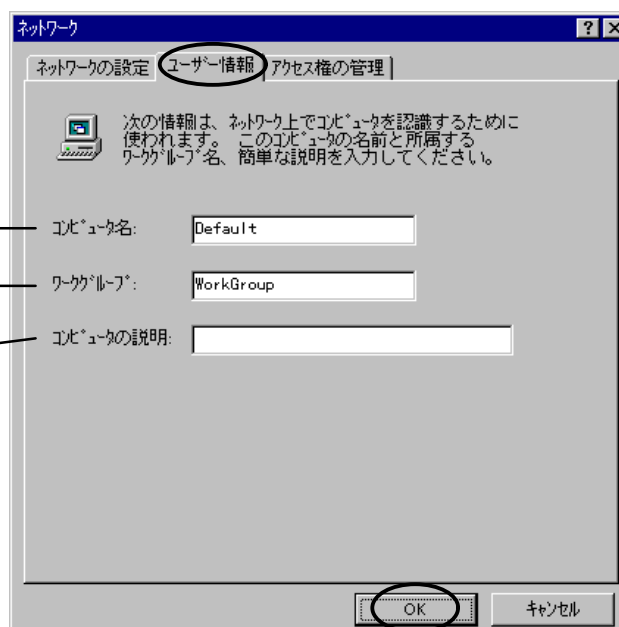
1 電源を入れ、Windows95を起動します。

2 Windows95が本製品を自動的に検出し、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示されます。「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

自動検出されなかった場合は、【● Windows98/95上でのトラブル】(P41)をご覧ください。

3 作成した「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」に

A:\WIN95（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合）

と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。

4 以下の「ﾕｰｻﾞｰ情報」の設定画面が表示された場合は、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名」や「ﾜｰｸﾞﾙｰﾌﾟ名」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

5 Windows95のシステムディスクが要求されます。

Windows95のシステムディスク（CD-ROM）をセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

「Windows95 CD-ROM上のﾌｧｲﾙ netapi.dllが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、Windows95のCD-ROMが挿入されている事を確認して、以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

例）　D:\WIN95

（下線部入力：CD-ROMドライブがＤドライブの場合）

ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ

Windows 95 CD-ROM 上のﾌｧｲﾙ netapi.dll が見つかりませんでした。

Windows 95 CD-ROM を選択したﾄﾞﾗｲﾌﾞに入れて、[OK] を押してください。

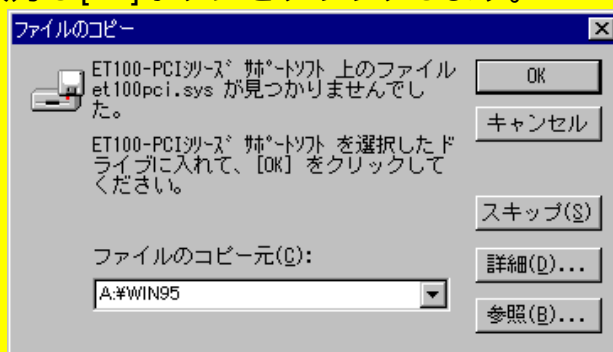
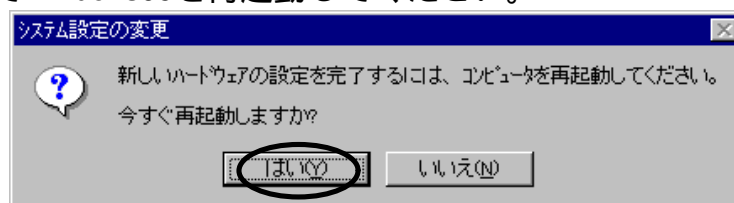
ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元(C)：

D:¥WIN95

OK　ｷｬﾝｾﾙ　ｽｷｯﾌﾟ(S)　詳細(D)...

「･･･のﾌｧｲﾙ ET100PCI.SYSが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、ET100-PCIシリーズサポートソフトが挿入されている事を確認して、以下のように入力し[OK]ボタンをクリックします。

例）　A:\WIN95

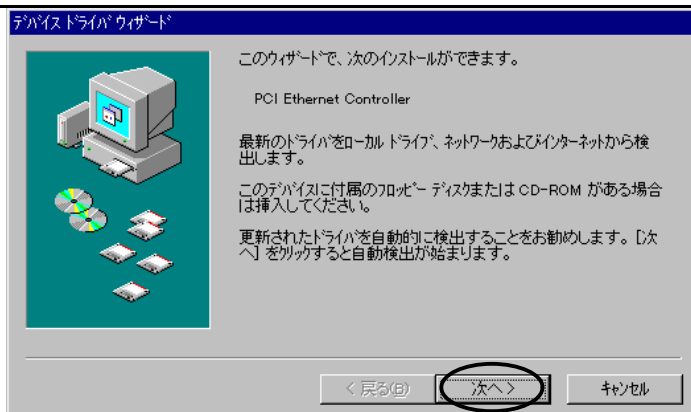
（下線部入力：フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

6　**『ｼｽﾃﾑ設定の変更』画面で、ドライブからフロッピーディスクを抜き、[はい]をクリックしてWindows95を再起動してください。**

『ｼｽﾃﾑ設定の変更』が表示されずにWindows95が起動した場合は、手動で再起動してください。

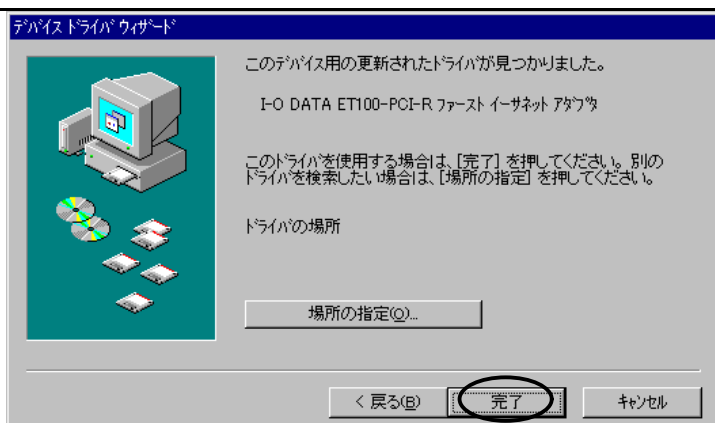
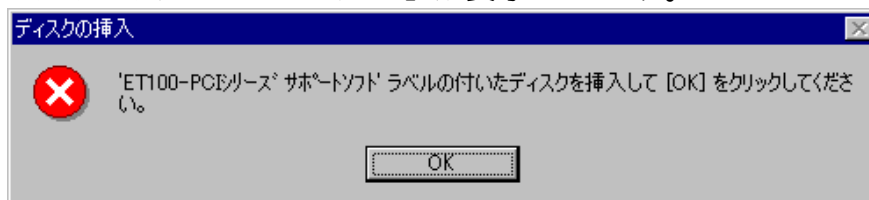
以上でインストールは終了です。Windows95を再起動後、インストール後の確認を行ってください。（【4.3 インストール後の確認】(P25)参照）

4.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

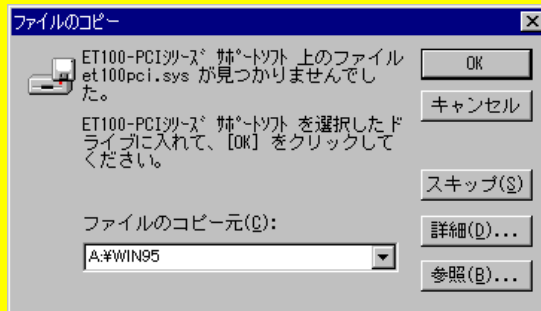
1 電源を入れ、Windows95を起動します。

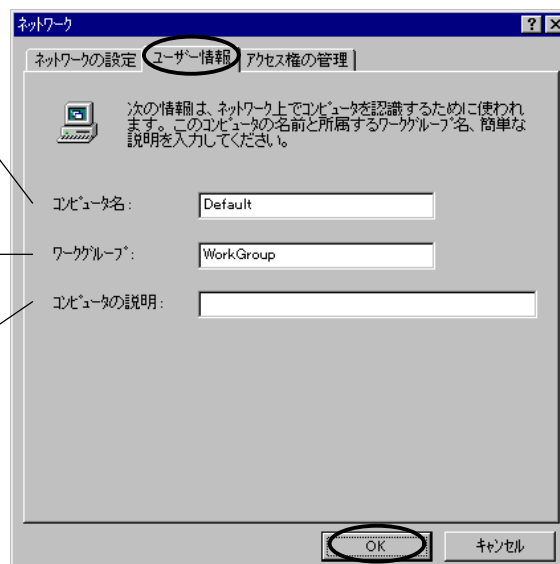
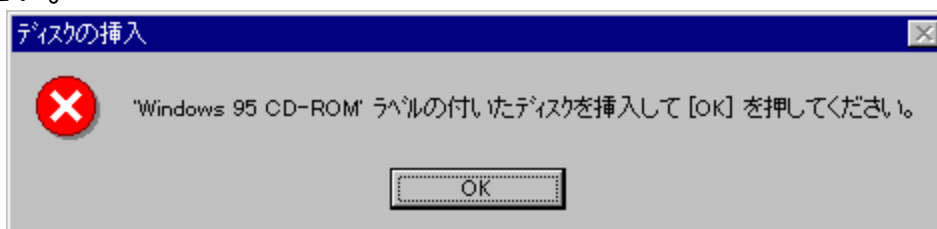
2 Windows95が本製品を自動的に検出し、『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示されます。
<u>「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入</u>し、[次へ]ボタンをクリックします。

注 意

自動検出されなかった場合は、【● Windows98/95上でのトラブル】(P41)をご覧ください。

3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりました。I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」のメッセージがでたら、[完了]ボタンをクリックします。インストールを開始します。

4 「ET100-PCIシリーズサポートソフト」が要求されます。

「サポートソフト」ディスクがフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認して[OK]ボタンをクリックしてください。

「･･･のﾌｧｲﾙ ET100PCI.SYSが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、ET100-PCIシリーズサポートソフトがフロッピーディスクドライブに挿入されている事を確認して、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。

例） A:\WIN95

（下線部入力:フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

5 **以下の「ﾕｰｻﾞｰ情報」の設定画面が表示された場合は、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名」や「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ名」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。**

6 **Windows95のシステムディスクが要求されます。**
Windows95のシステムディスク（CD-ROM）をセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

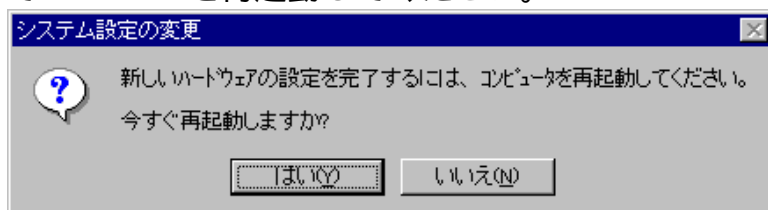
「Windows95 CD-ROM上のﾌｧｲﾙ netapi.dllが見つかりませんでした。」とエラー表示された場合は、Windows95のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている事を確認して、以下の例の様にパス指定を行い[OK]ボタンをクリックしてください。

例） D:\WIN95

（下線部入力:

CD-ROMドライブが

Ｄドライブの場合）

7 **『ｼｽﾃﾑ設定の変更』画面で、ドライブからフロッピーディスクを抜き、[はい]をクリックしてWindows95を再起動してください。**

『ｼｽﾃﾑ設定の変更』が表示されずにWindows95が起動した場合は、手動で再起動してください。

以上でインストールは終了です。Windows95を再起動後、インストール後の確認を行ってください。（【4.3 インストール後の確認】(次ページ)参照）

インストール後の確認

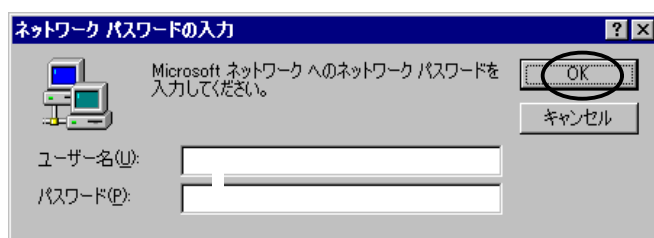
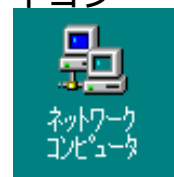
ここでは本製品が、Windows98/95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。
インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。
（以下の画面は、Windows98を例にしています。）

確認事項

≪確認事項　Ⅰ≫

パソコンを再起動すると起動途中で以下のA画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
起動後、デスクトップ上に、「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンが追加されたことを確認してください。（以下のB画面）

A　「ﾈｯﾄﾜｰｸ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力」画面

ネットワーク パスワードの入力
Microsoft ネットワーク へのネットワーク パスワードを入力してください。
OK
キャンセル
ユーザー名(U):
パスワード(P):

B　「ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ」上の「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコン

注 意

A、Bが表示されない場合は以下の２点をご確認ください。
1)『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を開き、
「Microsoftﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」があることを確認してください。
無い場合は、[追加]ボタンから追加してください。
2)「優先的にﾛｸﾞｵﾝする」を「Microsoftﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」に設定されているかご確認ください。

参 考

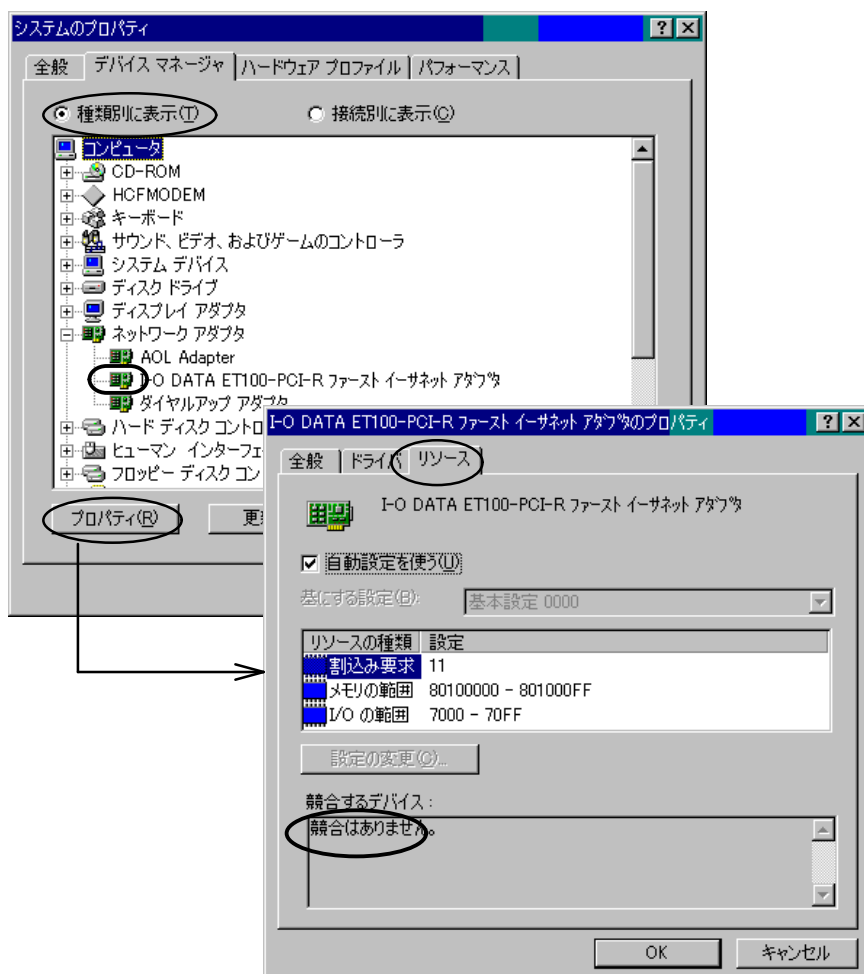
Windows98/95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておけば、１つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザIDとパスワードの入力なしでログインできます。

≪確認事項　II≫

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、『ｼｽﾃﾑ』アイコンをダブルクリックしてください。

① **『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」で、「I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。**

② **「I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択した状態で、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックし、『I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、デバイスが競合していない事を確認してください。**

参照

！マークがついている場合は、【● Windows98/95上でのトラブル】(P41)を参照してください。

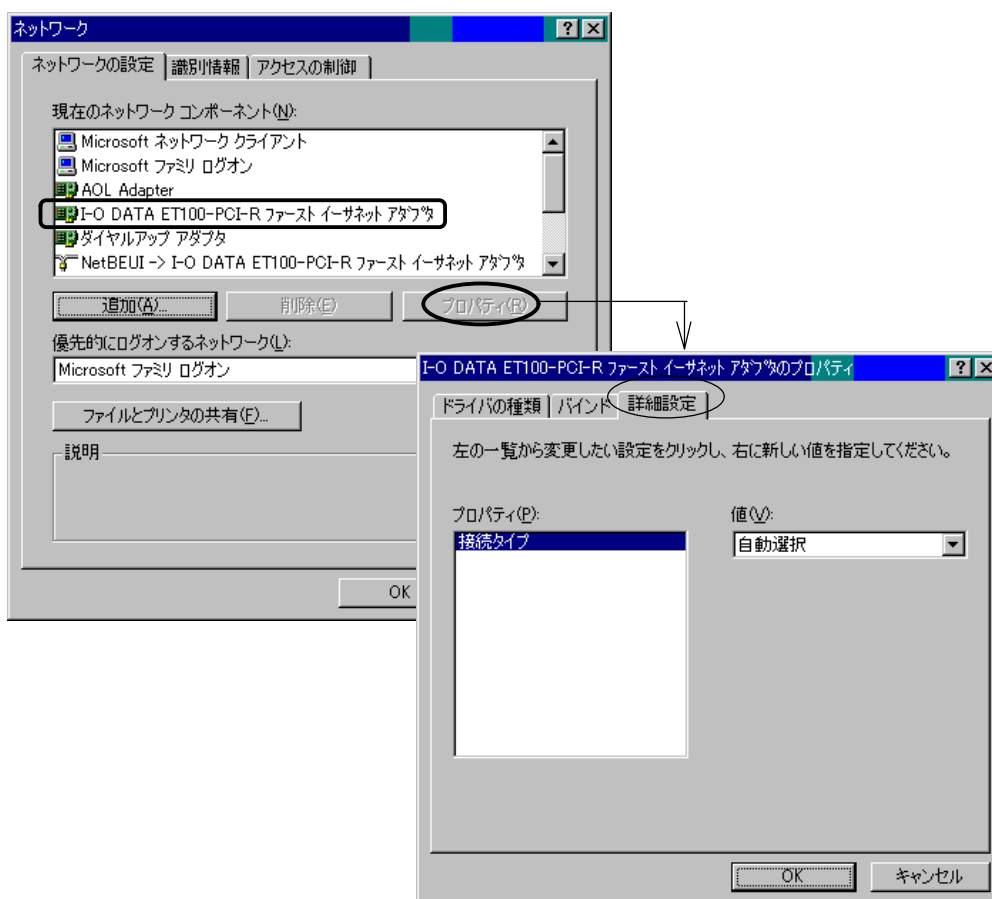
≪確認事項 Ⅲ≫

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックします。『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面になります。

「接続ﾀｲﾌﾟ」が「自動選択」となっていることを確認してください。

この設定が正しくないとWindows98/95がハングアップしたり正常な動作を行わない可能性があります。

注 意

システムを起動する時にはケーブルを、ネットワークへ必ず接続しておかなければなりません。接続されていないときは、正常に機能せず、Windows98/95がハングアップするなどの現象が発生します。

正常に認識されていることが確認されたら、Windows98/95で本製品が使用できます。

第５章 他のOSで使用するには

この章では、【第３章】で取り付けた本製品をNetWare,WindowsNT4.0で使用する場合の設定について説明します。

注 意

インストールには「サポートソフト」ディスクが必要となります。
あらかじめ【第２章】(P7)で準備した「サポートソフト」ディスクをご用意ください。

5-1 NetWareへのセットアップ

NetWareサーバで本製品を設定する場合は本ページ以降をご覧ください。

● サーバの設定

注 意

NetWare サーバを使用する前に、Novell社より提供の最新OSパッチモジュールをインストールしてください。

1 NetWare4.xJ/5.xJサーバのインストール時の場合

1 ネットワークドライバの設定画面で[Ins]キーを押し、「リストにないドライバ」のインストールを行います。

```
↑ CB4680.LAN     NEC CB4680 LAN ﾄﾞﾗｲﾊﾞ
  CR8100.LAN     NEC CR8100 LAN ﾄﾞﾗｲﾊﾞ
  IPTUNNEL.LAN   IPﾄﾝﾈﾙ ﾄﾞﾗｲﾊﾞ
  MACIPXGW.LAN   MacIPX ｹﾞｰﾄｳｪｲ
  NB4680.LAN     NEC NB4680 LAN ﾄﾞﾗｲﾊﾞ
↓ PB4680.LAN     NEC PB4680 LAN ﾄﾞﾗｲﾊﾞ
```

リストにないドライバのインストール<Ins>

2 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、スキャンするパスと同じならそのまま↵キーを押し、異なる場合は[F3]キーを押してディレクトリパス（フロッピーディスクドライブ名のみ）を入力してください。

3 『インストールするドライバの選択』画面で以下のように表示されていることを確認して、↵キーを押してください。

```
インストールするドライバの選択

ET100PCI.LAN     I-O DATA ET100-PCIｼﾘｰｽﾞ 3860DI ﾄﾞﾗｲﾊﾞ
```

4 スロット番号を設定してください。

注 意

本製品で4.xJ/5.xJをご利用になる場合は、利用するドライバによってスロット番号が異なります。スロット番号がわからない場合は、番号を入力せずにドライバをロードします。サーバは、プロンプトに使用可能なスロット番号を表示します。その値を使用してください。

5 さらにLANアダプタを追加する場合は、「追加のネットワークドライバを選択しますか？」の画面で「Yes」を選択すると**1**～**5**を繰り返します。

以上で設定は終了です。

2 NetWare4.xJ/5.xJサーバへ追加設定する場合

1 システムコンソールから

NetWare4.xJの場合は

xxxx:LOAD INSTALL↵　　（下線部入力）

NetWare5.xJの場合は

xxxx:LOAD NWCONFIG↵　　（下線部入力）

と入力し、「ドライバオプション」-「ネットワークドライバの設定」-「追加ドライバの選択」を選択してください。

2 後は、「1 NetWare4.xJ/5.xJサーバのインストール時の場合」(前ページ)を参照してインストールしてください。追加ドライバに対する操作で「追加ドライバの選択」を選択してください。

3 NetWare3.xJサーバの場合

1 サーバマシンでMS-DOSを起動してください。(サーバマシンで既にNetWareが起動している場合は、ユーザーに通知してからシャットダウンしてください。）

2 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスクドライブのnetware\386odiディレクトリからNetWare3.xJサーバがインストールされているディレクトリ（通常はserver.312）に必要なNetWareサーバ用ドライバをコピーしてください。

◎ DOS/Vマシンの場合

```
copy a:\netware\386odi\et100pci.lan c:\server.312
```

◎ PC-9821シリーズの場合

```
copy c:\netware\386odi\et100pci.lan a:\server.312
```

3 NetWare3.xJサーバを起動して、システムコンソールから

xxxx:LOAD INSTALL↵　　　　（下線部入力）

と入力してください。

4 表示されているメニューから「ｼｽﾃﾑｵﾌﾟｼｮﾝ」-「AUTOEXEC.NCFﾌｧｲﾙの編集」を選択し、下記の2行を追加してください。

（例:DOS/Vマシンでｲｰｻﾈｯﾄ802.2[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ]を使用する場合）

```
load c:\server.312\et100pci slot=yyyyy frame=ethernet_802.2 name\et100pci_1_e82
bind ipx to et100pci_1_e82 net=xxxx
```

（下線部は同じにしてください。）

（yyyyyはNetWareの環境により異なります。）

（xxxxはNetWareの環境によって異なります。）

以上でインストールは終了です。

NetWare3.xJを再起動すると有効になります。

1) NetWare3.xJサーバの設定は複雑です。詳細はNetWareなどの取扱説明書を参照してください。

2) autoexec.ncfに変更を加えた場合は、その環境を有効にするために必ずNetWare3.xJサーバを再起動してください。

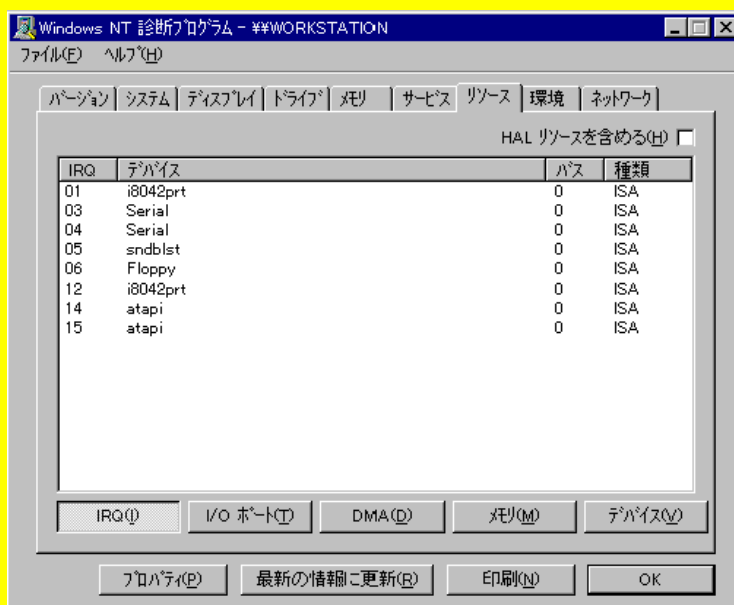
日本語WindowsNT4.0へのセットアップ

5.2.1 インストール

本製品を取り付ける前にWindowsNT4.0のネットワークの設定を既に終了している場合はアダプタの追加のみの手順となります。アダプタの追加のみの場合は、網掛けの項目のみをご覧ください。

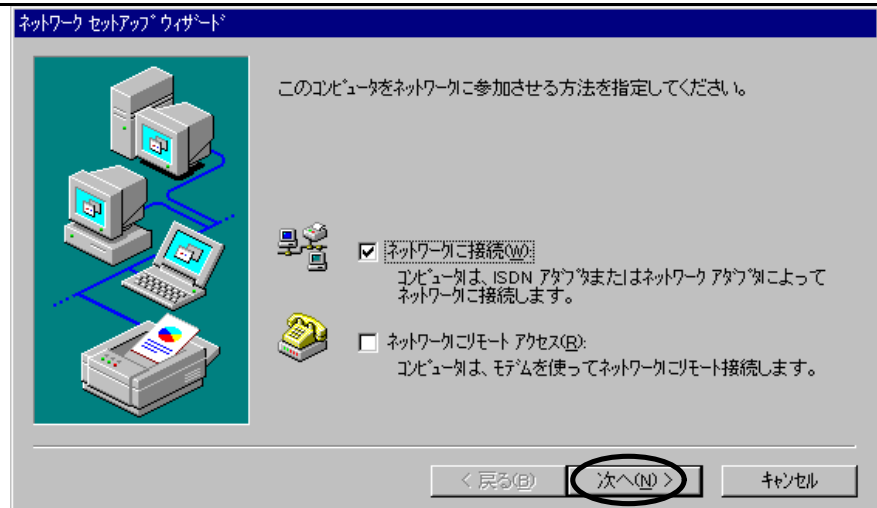
1 WindowsNT4.0を起動します。

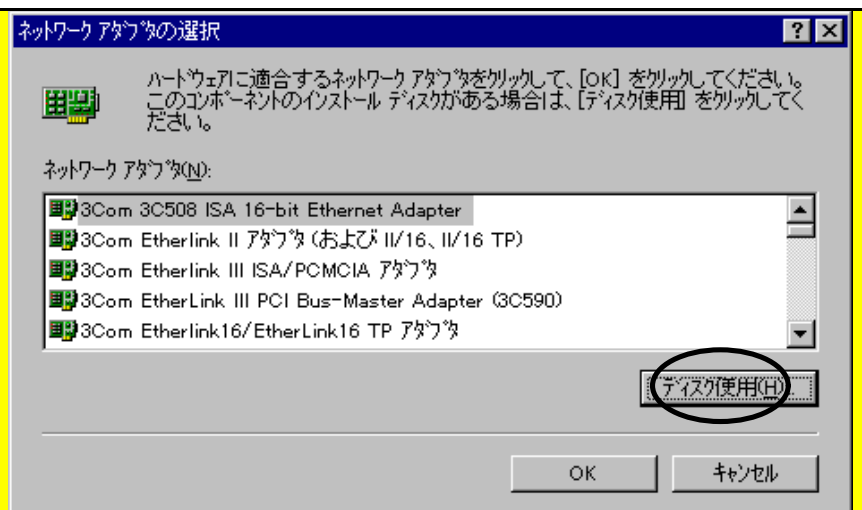
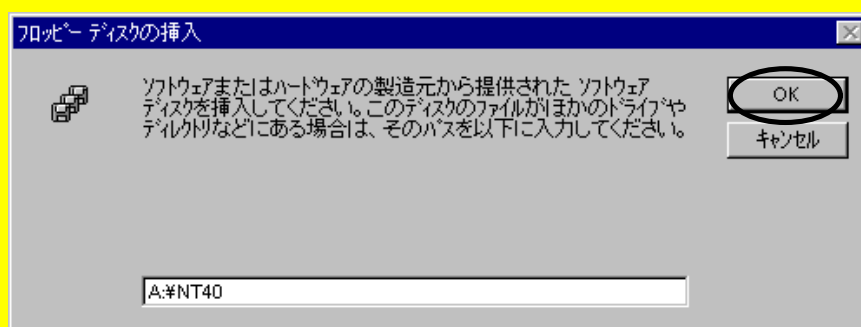
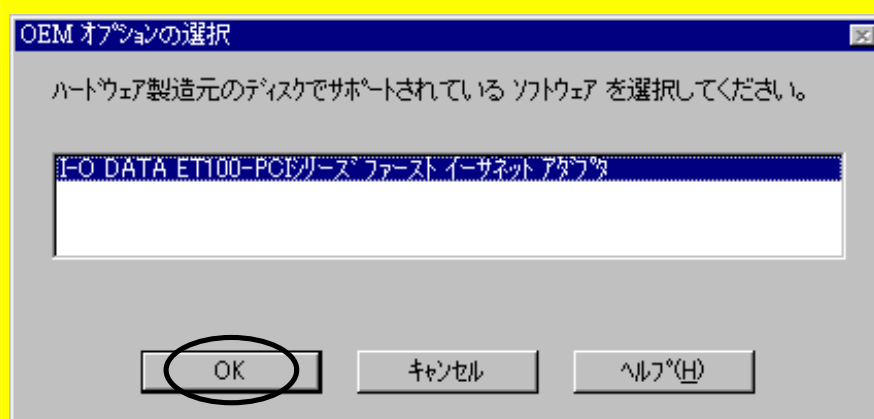
2 まず、本製品が使用できるリソース（I/0 ﾎﾟｰﾄ､割り込み,ﾒﾓﾘ領域）を確認してください。

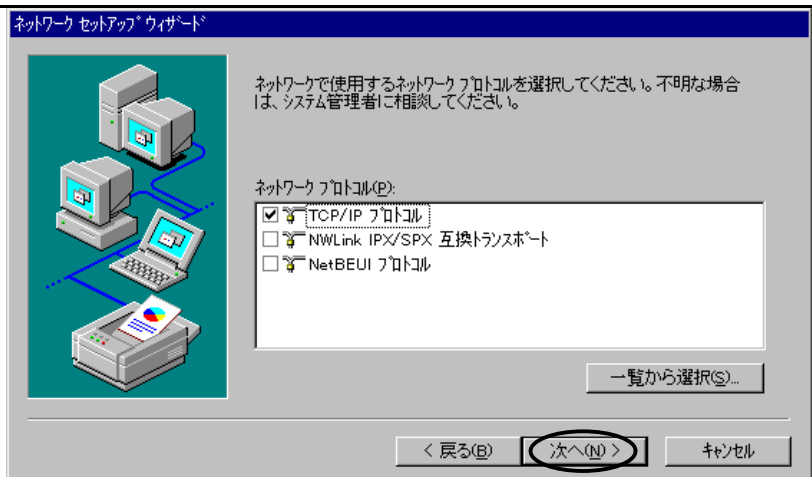
確認方法は、『プログラムマネージャ』－『管理ツール』の「WindowsNT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を起動して、空いている（使用していない）リソースで確認できます。

注 意

NT診断プログラムでは、他のデバイスでIRQを使用しているにも関わらず、表示されない場合があります。パソコン本体の取扱説明書をご覧になり、空きのIRQがある事をご確認ください。

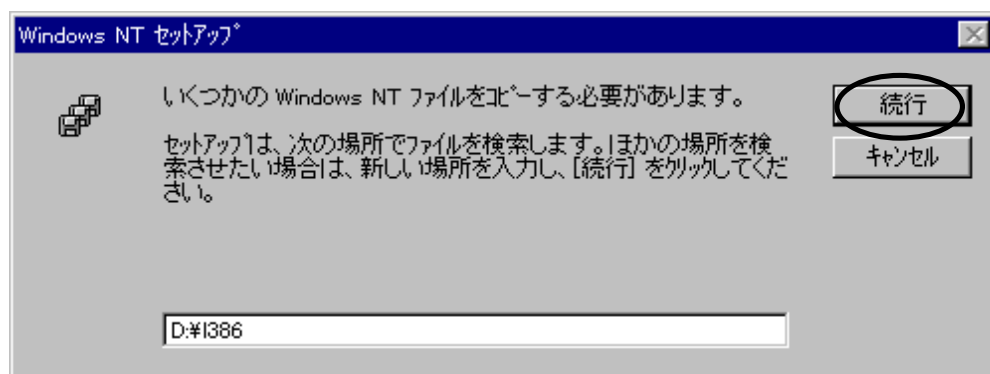
3 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]アイコンをダブルクリックして開きます。別のネットワークカード等がインストールされている場合は、[アダプタ]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックしてください。（ネットワークがインストールされていない場合は、「Windows NT ネットワークがインストールされていません。インストールしますか ?」と表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。）

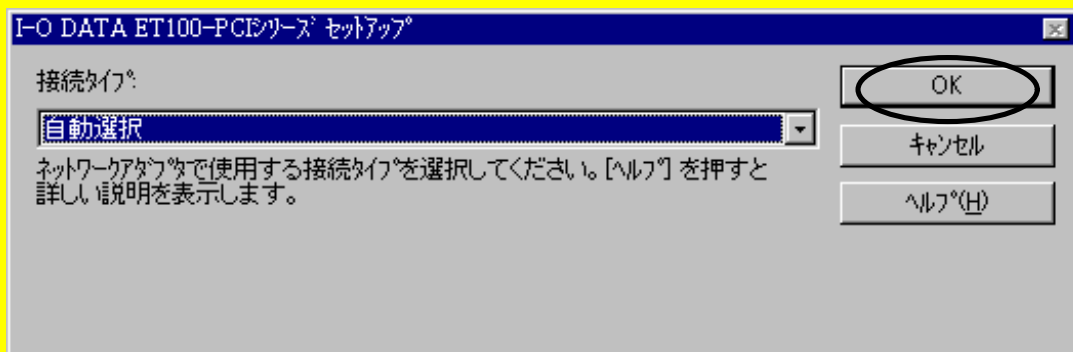
4 『ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾄｱｯﾌﾟｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面で、「ﾈｯﾄﾜｰｸに接続」がチェックされている事を確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

5 検索の画面が表示されます。[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。

6 アダプター一覧が表示されます。右下の[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。

7 『ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸの挿入』画面が表示されます。「サポートソフト」を挿入後、「A:\NT40」と入力（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがＡドライブの場合）して、[OK]ボタンをクリックしてください。

8 『OEMオプションの選択』画面では、「I-O DATA ET100-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ
ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

9 右のように、「I-O DATA ET100-PCI ｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」が表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

10 ネットワークで使用するプロトコルを指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

11 ネットワークサービスを指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

12 「選択されたﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄとｼｽﾃﾑに必要なﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄをｲﾝｽﾄｰﾙします。........」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックし、それぞれのコンポーネントを設定してください。設定の詳細については、WindowsNT4.0のマニュアルをご覧になるか、またはネットワーク管理者にお尋ねください。

13 「いくつかのWindows NTﾌｧｲﾙをｺﾋﾟｰする必要があります」と表示されます。
WindowsNT4.0のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は「D:\i386」、
PC-9821シリーズの場合は「D:\PC98」と入力(CD-ROMドライブがDドライブの場合)して[続行]ボタンをクリックしてください。

（PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合）

14 **接続タイプの設定画面が表示されます。**
接続タイプを設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

別のネットワークなどがインストールされている状態で本製品を追加した場合の作業はこれで完了です。他に必要なネットワークの設定を行ったあと、画面の指示にしたがって再起動してください。

15 ネットワークのバインドを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

16 「ﾈｯﾄﾜｰｸを起動する準備が整いました。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。

17 ドメインまたはワークグループを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

18 「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀにﾈｯﾄﾜｰｸがｲﾝｽﾄｰﾙされました。........再起動しなければなりません。」と表示されます。[完了]ボタンを押して、フロッピーディスクをドライブから抜き、再起動してください。

参 考

サービスパックをインストールしていた場合は、もう一度インストールし直してください。古いファイルが入ってしまうことがあります。

以上でインストールは完了です。
次ページを参照して、正しくインストールされたかどうか確認してください。

5.2.2 インストール後の確認

ここでは本製品がWindowsNT4.0で正常に認識されている事の確認方法を説明します。
インストール終了後、必ず以下の事を確認してください。

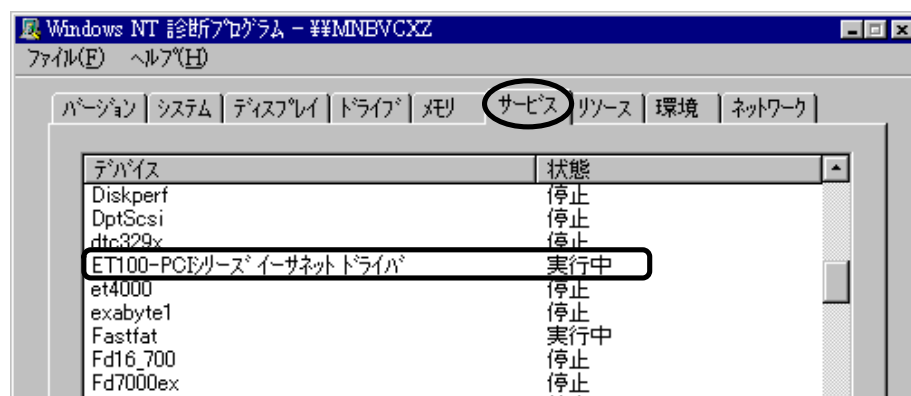
確認１

起動時に以下のようなエラーが表示されない事を確認してください。
エラーが表示された場合は、本製品の取り付けを確認してください。

確認２

『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』→『管理ﾂｰﾙ』をクリックし、『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』アイコンをダブルクリックして『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』を起動します。

1.「ｻｰﾋﾞｽ」タブの「ﾃﾞﾊﾞｲｽ」ボタンをダブルクリックしてください。
「ET100-PCIｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ﾄﾞﾗｲﾊﾞ」の項目が表示されており、「状態」が「実行中」であることを確認してください。

(画面例：
PC98-NXシリーズ
及びDOS/Vマシン)

2.『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』の「ﾘｿｰｽ」タブのIRQ(以下の①画面)及びI/Oポート(以下の②画面)で、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ]に「ET100PCI」が登録されている事を確認してください。

① IRQ の表示例

Windows NT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ - ¥¥COMPUTER

ﾌｧｲﾙ(F)　ﾍﾙﾌﾟ(H)

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ | ｼｽﾃﾑ | ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ | ﾄﾞﾗｲﾌﾞ | ﾒﾓﾘ | ｻｰﾋﾞｽ | ﾘｿｰｽ | 環境 | ﾈｯﾄﾜｰｸ

HAL ﾘｿｰｽを含める(H)

IRQ	ﾃﾞﾊﾞｲｽ	ﾊﾞｽ	種類
01	i8042prt	0	ISA
03	Serial	0	ISA
04	Serial	0	ISA
06	Floppy	0	ISA
11	ET100PCI	0	PCI
12	i8042prt	0	ISA
14	atapi	0	ISA
15	atapi	0	ISA

IRQ(I)　I/O ﾎﾟｰﾄ(T)　DMA(D)

ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)　最新の情報に更新(R)

② I/Oﾎﾟｰﾄの表示例

Windows NT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ - ¥¥COMPUTER

ﾌｧｲﾙ(F)　ﾍﾙﾌﾟ(H)

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ | ｼｽﾃﾑ | ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ | ﾄﾞﾗｲﾌﾞ | ﾒﾓﾘ | ｻｰﾋﾞｽ | ﾘｿｰｽ | 環境 | ﾈｯﾄﾜｰｸ

HAL ﾘｿｰｽを含める(H)

ｱﾄﾞﾚｽ	ﾃﾞﾊﾞｲｽ	ﾊﾞｽ	種類
0064 - 0064	i8042prt	0	ISA
0170 - 0177	atapi	0	ISA
01CE - 01CF	VgaSave	0	PCI
01F0 - 01F7	atapi	0	ISA
02F8 - 02FE	Serial	0	ISA
0378 - 037A	Parport	0	ISA
03B0 - 03BB	VgaSave	0	PCI
03C0 - 03DF	VgaSave	0	PCI
03C4 - 03C5	FsVga	0	内部
03CE - 03CF	FsVga	0	内部
03D4 - 03D4	FsVga	0	内部
03D5 - 03D5	FsVga	0	内部
03F0 - 03F5	Floppy	0	ISA
03F7 - 03F7	Floppy	0	ISA
03F8 - 03FE	Serial	0	ISA
2400 - 24FF	ET100PCI	0	PCI

IRQ(I)　I/O ﾎﾟｰﾄ(T)　DMA(D)　ﾒﾓﾘ(M)　ﾃﾞﾊﾞｲｽ(V)

ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)　最新の情報に更新(R)　印刷(N)　OK

参 考

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』の「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」タブでの「I-O DATA ET100-PCI ｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」のプロパティでも現在のリソースを確認できます。

正常にリソースの割り当てがされない場合は、パソコン本体のBIOSにてPnPを無効（DisableまたはNO等）に設定し、お試しください。

付録1 困った時には

本製品が異常になる理由は様々です。（ネットワークケーブルが接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。）
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

● 共通トラブル

Wake on LANが動作しない

原因1 取り付けたパソコン本体がWake on LANに対応していない。
対処 本製品はWake on LANに対応したパソコン本体に接続してお使いください。

原因2 前回パソコンの電源を切るときに、Windows上からパソコンの電源を切っていない。
対処 Wake on LANを使用するときは、必ずその前にWindows上からパソコンを終了しておく必要があります。コンセントを抜くなどしてパソコンの電源を切った場合は、一度パソコンを起動して［スタート］→［Windowsの終了］から終了してください。

原因3 パソコンのBIOSの設定でWake on LANに関する部分がEnable（有効）になっていない。
対処 パソコンの取扱説明書をご覧になり、BIOS設定をEnable（有効）にしてください。

原因4 Wake on LANケーブルの取り付けが正しく行われていない。
対処 【2 Wake on LANケーブルの取り付け】(P12)を参照してください。

● Windows98/95/NT上でのトラブル

本製品のドライバをインストール後、正常に動作しない。

原因　本製品を取り付けているスロットが不安定である。

対処　以下の手順に従ってください。

① Windowsを起動後、『ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックし、｢ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ｣を選択します。（WindowsNT4.0では更に「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」タブを選択します。）
「I-O DATA ET100-PCIｼﾘｰｽﾞ ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[削除]ボタンを押して本製品のドライバを削除してください。

② シャットダウン後電源をOFFにし、本製品を取り外してください。

③ 本製品を他のPCIスロットに取り付けてください。

④ 電源をONにし、再度Windows用ドライバをインストールしてください。

● Windows98/95上でのトラブル

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→｢ｼｽﾃﾑ｣アイコンをダブルクリック後、『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」で、「I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、黄色の！マークがついている。

原因　リソースが競合している。

対処　次ページの手順に行ってみてください。（画面は、DOS/Vマシンでの Windows98を例にしています。）

① 「I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックします。「ﾘｿｰｽ」タブをクリックし、「競合しているﾃﾞﾊﾞｲｽ」を確認します。

②「競合しているﾃﾞﾊﾞｲｽ」の「ﾘｿｰｽの種類」（「I/Oﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」等）をクリックします。ここで、自動設定がチェックされていた場合は、チェックを外してください。

③ [設定の変更]ボタンをクリックします。編集画面が表示されます。

④ 設定値の変更を行います。

⑤ 変更した「値」が、「競合ﾃﾞﾊﾞｲｽがない」のを確認してください。競合ﾃﾞﾊﾞｲｽがある場合には、他の設定値に変更し直してください。

⑥ 変更終了後、編集ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。

後はすべての画面を閉じて、一旦パソコンを再起動してください。

注 意

ご使用のパソコンによっては、変更できない場合があります。

インストール時に本製品が自動検出されない。または、Windows98/95上で本製品が正常に動作しない。

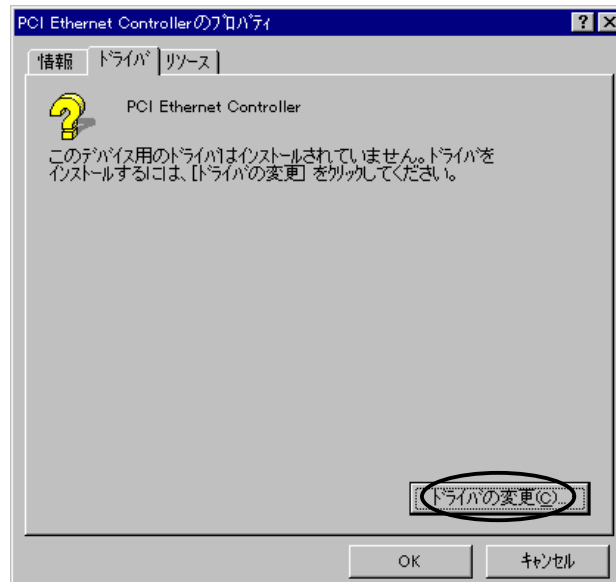
原因1 本製品が正しく取り付けられていない。

対処 【3.3 取り付け】(P10)を参照して、本製品を正しく取り付けてください。それでも正常動作しない場合は、取り付けるスロットを変更してお試しください。

原因2 間違ったドライバが既にインストールされている、またはドライバが正常にインストールされていない。

対処 まず『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→「ｼｽﾃﾑ」にある「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」を調べてください。「？」マークのところに「PCI Ethernet Controller」がある場合は以下ののドライバの変更・更新>の手順に従ってください。
また、「PCI Ethernet Controller」がない場合は、システムの異常、パソコン本体の異常、本製品の異常が考えられます。パソコン本体メーカーもしくはに弊社PLANTコールセンターにお問い合わせください。

《ドライバの変更・更新》

「PCI Ethernet Controllerのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」が選択された状態で、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックしてください。「PCI Ethernet Controllerのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」で[ﾄﾞﾗｲﾊﾞの変更]ボタン（または[ﾄﾞﾗｲﾊﾞの更新]ボタン）をクリックしてください。

この後、以下の個所を参照してください。

Windows98の場合‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥以下の【Windows98の場合】

Windows95バージョン4.00.950または4.00.950Aの場合

‥‥‥‥‥‥次ページの【Windows95バージョン4.00.950/4.00.950aの場合】

Windows95バージョン4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合

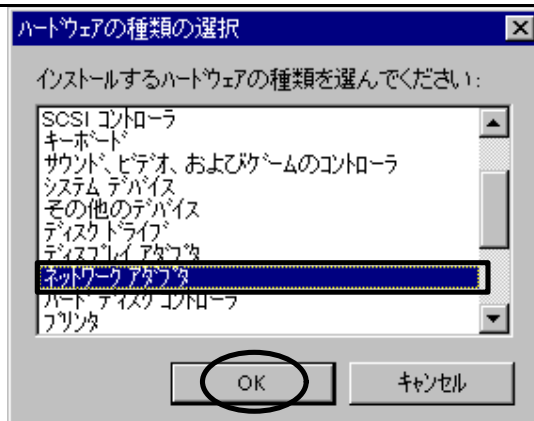
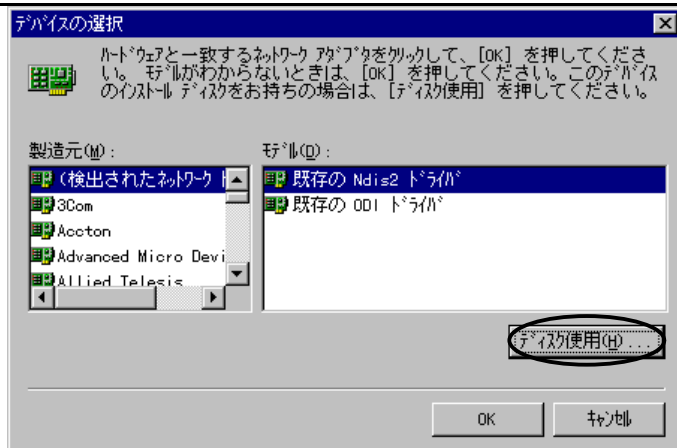
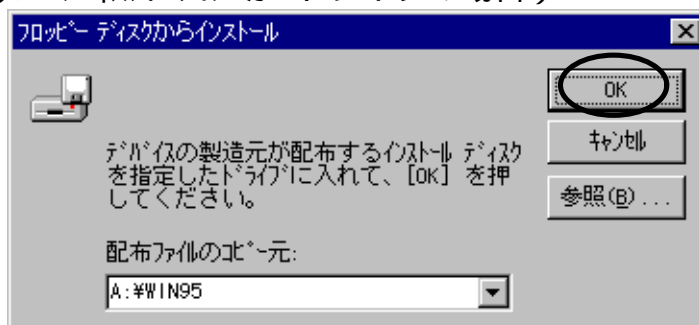
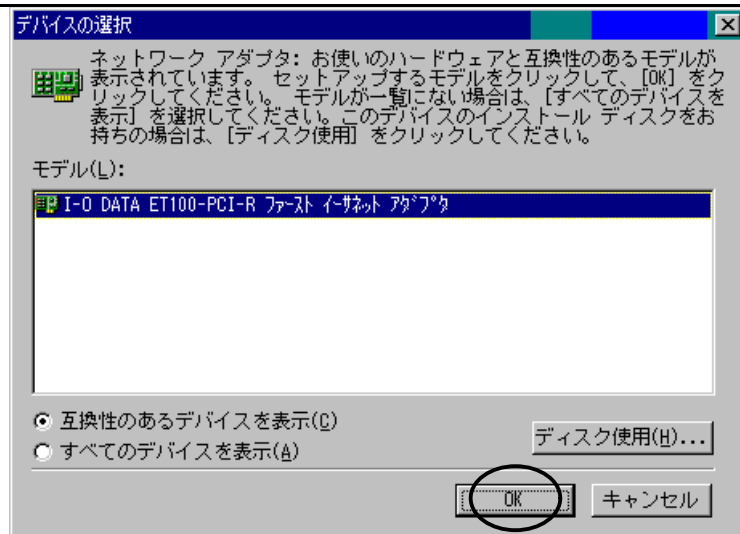
‥‥‥‥‥‥‥【Windows95バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合】(P46)

● Windows98の場合

1 「次のデバイスの更新されたドライバを検索します。」では、[次へ]ボタンをクリックしてください。

後は、【4.1 Windows98へのインストール】の手順**3**(P16)以降を参照してください。

● Windows95バージョン4.00.950/4.00.950aの場合

1 「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの選択」画面では、「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。

2 「ﾃﾞﾊﾞｲｽの選択」画面では、[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。

3 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」に A:\WIN95 （ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合）と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。

4 「ﾓﾃﾞﾙ」欄に「I-O DATA ET100-PCI-R ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されている事を確認後、[OK]ボタンをクリックしてください。

5 「PCI Ethernet Controllerのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックしてください。

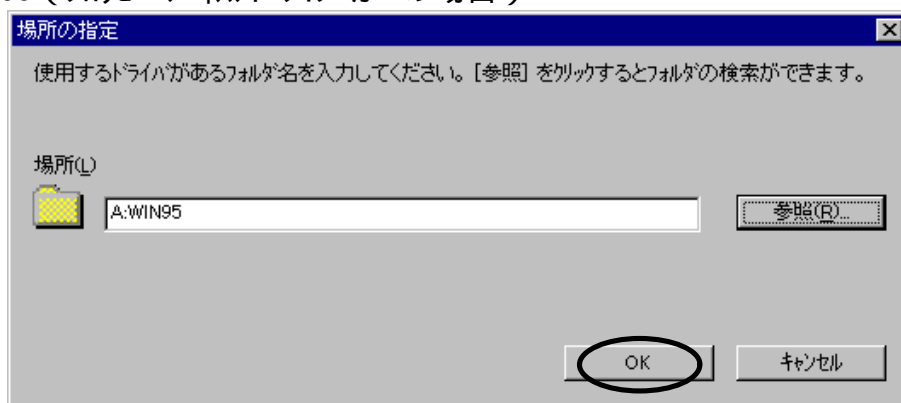
後は、【4.2.1 バージョン4.00.950/4.00.950aの場合】の手順 4 (P20)以降を参照してください。

● Windows95バージョン4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合

1 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。

2 「自動検索しますか？」では、「はい」を選択後、[次へ]ボタンをクリックしてください。

3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりませんでした。」と表示された場合は、[場所の指定]ボタンをクリックしてください。

4 フロッピーディスクドライブに「サポートソフト」ディスクを挿入し、「場所」に A:\WIN95（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAの場合）と入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

後は、【4.2.2 バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cの場合】の手順**3**(P22)以降を参照してください。

付録2 仕様

ここでは本製品の仕様について記述します。

LANアダプタボード	ET100-PCI-R
LANコネクタ	RJ-45
メディアタイプ	10BASE-T/100BASE-TX(RJ-45)単一コネクタ
伝送方法	ベースバンド方式
アクセス方法	CSMA/CD
LEDインジケータ	100BASE-TX(100) 10BASE-T(10) ACT
転送レート	10Mbps/100Mbps
IRQ（割り込み）ﾁｬﾝﾈﾙ	INT A，BIOS IRQセットアップによる自動設定
I/Oポートアドレス	自動検出設定
使用湿度範囲	10%～90%(結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)
使用温度範囲	0℃～40℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
消費電流(MAX)	10BASE-T/100BASE-TX：+5V/300 mA
サイズ	120.0×54.0 mm
質量	55g

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1．　お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2．　ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo．
　　(フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3．　ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4．　ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5．　現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/support/ 「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET100-PCI-R」係　宛

■電話

電話番号	東京　03-5256-2010
受付時間	9:30～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号	東京　03-3254-9055
宛先	株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンター「ET100-PCI-R」係　宛

本製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ･ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ9(LIB 9)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET100-PCI-R」 バージョンアップ係　宛

電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●このサービスへのご質問は、弊社PLANTコールセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りいただきますよう、お願いいたします。

● 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

● 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

● 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
◇保証書がない場合
◇保証書の所定事項が未記入の場合
◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
◇落雷などの事故による破損の場合
◇本製品を改造した場合

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET100-PCI-R」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせ窓口

電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。